明治国際医療大学 大学院保健医療学研究科　保健学専攻
修士課程　設置構想の概要

1. 専攻の概要

名　　称	明治国際医療大学 大学院保健医療学研究科 保健学専攻 修士課程（仮称）
開設時期	令和４（2022）年４月（予定）
開設場所	明治国際医療大学（京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷 6-1）
修業年限	２年（長期履修制度（最大３年まで）あり）
入学定員	８名（収容定員；16 名）
取得学位	修士（保健学）

2. 設置の理念

我が国の人口構造の変化に伴う疾病構造や社会構造の変容により、保健医療政策の転換が迫られており、地域社会に入り込み、プライマリー・ヘルス・ケアやプライマリー・ケアの実践とともに医療連携及びチーム医療をプロデュースし、協働して「先進健康地域」の創生を推進できる人材が必要である。

これまでのように現代西洋医学による一元的医療の専門職や研究者の養成ではなく、東洋医学等の伝統医療や他の補完代替医療(CAM)も含めた統合医療を基盤とした多機能型の人材養成である。

潜在的な地域課題を探索し、多様なニーズに対応できる保健医療福祉の連携システムと「先進健康地域」をプロデュースできる人材、またそれらを研究し成果を地域社会に実装でき、この分野の学術の発展に寄与できる人材の養成である。言い換えると保健医療分野における学際的な研究視点を有する次世代型高度の医療人である。

本学は、「東洋と西洋の融和」を建学の精神として掲げ、「東西両医学を有機的に関連づけて、社会に貢献できる医療人を育成する」ことをミッションとしており、本専攻の設置は、その建学の精神に沿うものである。

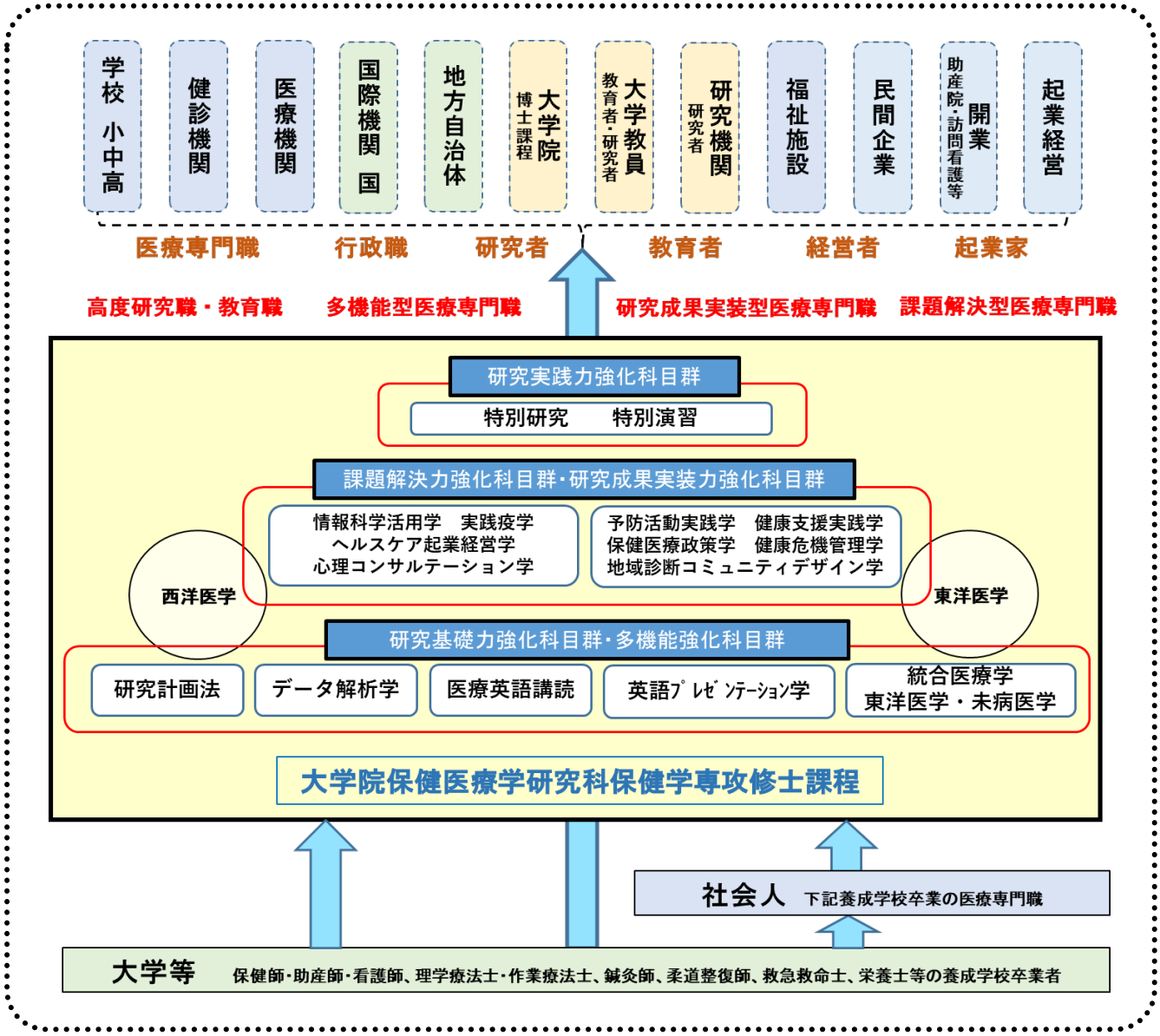
3. 専攻の目的

保健学研究に必要な高度な研究能力並びに専門的な研究成果の実装能力を有する人材養成を行うとともに、保健学の科学的研究基盤の拡大と進展への寄与並びに社会に貢献することを目的とする。

4. 養成する人材

広く保健医療専門職を対象として東洋医学及び統合医療に関する知識・技術を学修し、保健学（医学、社会学をはじめ、すべての関連分野を健康という目標に向って組立てた総合的応用科学）を基盤とした研究能力と研究成果の実装力を兼ね備えた多機能型医療専門職を養成する。
地域における潜在的な課題を探索し、「Think Globally, Act Locally」の理念と「生活モデル」に基づいて健康維持・増進、疾病予防、高齢者の自立支援等を企画、実践、評価する PDCA サイクルに沿って多職種が協働して課題解決を推進できる次世代課題解決型医療人を養成する。

地域社会の多様な保健医療福祉的なニーズに対応した、高度な研究成果の地域への実装による「健康先進地域」をプロデュースして、地域連携システムの構築と質の高い地域包括ケアを展開することができる研究成果実装型医療人を養成する。



5. 専攻の特色

★夜間・土日の授業やサテライトキャンパス（京都駅前）において、現職社会人が学びやすいカリキュラムを実施します。

★職業を有している等の事情により、標準修業年限での履修が困難な方は、長期履修制度により、２年間の授業料で３年間の在籍履修が可能です。

★一部の特論科目、演習科目はメディア授業で履修することができます。但し、特別研究、研究指導については大学若しくはサテライトキャンパス等において、面接授業を行います。

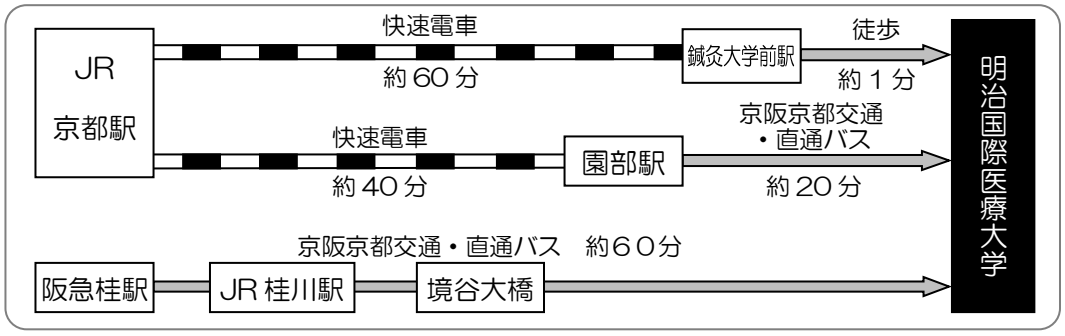
入学対象者・・・主として医療専門職

（保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士、鍼灸師、柔道整復師、救急救命士、栄養士など）

6. 修了後の進路

（１）医療専門職（医療機関、健診機関、学校、国、地方自治体）
（２）行政職（国際機関、国、地方自治体）
（３）教育者・研究者（大学教員、研究機関、大学院博士課程）
（４）経営者・起業家（福祉施設、民間企業、開業（助産院、訪問看護等）、
ヘルスケア関連会社起業・経営）

7. 本学へのアクセス



※本学では、原則として自動車やバイクでの通学は禁止しておりますが、公共交通機関による通学が著しく不便な学生には、学内の駐車場の利用を許可（要事前申請）しております。

★上記は、設置構想中の内容であり、変更になる場合があります。

【問い合わせ先】

明治国際医療大学　経営企画室

TEL　0771-72-1231　　FAX　0771-72-1040

E-mail　sec_plan@meiji-u.ac.jp

〒629-0392　京都府南丹市日吉町